

枕崎市 地域学校協働活動だより

令和8年2月号

パソコンで検索

枕崎市地域学校だより

検索

スマホで読み取り



発行

枕崎市
教育委員会
生涯学習課

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったりパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

～江戸時代からの伝統行事 「立神正月相撲」を開催～ 立神校区

江戸時代から続く正月の伝統行事「立神正月相撲」が、1月3日に駒場公園で開催され、小学生、中学生、一般まで86名の力士が熱戦を繰り広げました。

昨年はコロナ禍を乗り越え5年振りに行われましたが、立神校区の皆さんの努力により、今年も盛大に開催されました。



団体戦では男子対女子の取組も

昔は枕崎地区、桜山地区でも正月相撲が行われていましたが、現在は立神地区だけがその伝統を今に伝えています。

今年も多くの子の参加があり、小学生の団体戦では男子対女子の対戦も見られました。

子ども会、育成会、壮年会、老人会と、地域の方々の協力により伝統行事が守られて、子供からお年寄りまで一同に会することができました。餅つきや赤ちゃん土俵入りも行われ、会場は大勢の地域の人たちで終日賑わい、笑顔に包まれた立神正月相撲でした。



土俵際での熱い攻防



「もちづきくん」の大型しかけ絵本が登場

最初に紙芝居を使ったクリスマスの読み聞かせで始まり、あわてんぼうのサンタクロースの歌を皆で合唱し、そのあと松ぼっくりとツリーのお菓子を作りました。作ったお菓子で少し遅めのクリスマスパーティを開き、福笑いや、かるた作りを行い、かるた取りも楽しみました。更にはビンゴゲームで子供たちへのプレゼントもあり、最後にお正月の絵本の読み聞かせをしてくださいました。盛りだくさんの内容で、みんなの笑顔があふれる楽しい時間となりました。

～年越しのスイーツ作りと 読み聞かせ～ 桜山地区公民館

桜山地区公民館では、12月27日に「スマイルママブック」さんが講師となって「年越しのスイーツ作りと読み聞かせ」が行われ、園児1名、小学生16名、中学生1名、保護者5名が参加して読み聞かせとスイーツ作りを楽しみました。

「スマイルママブック」は、桜山小学校などで読み聞かせを行っているボランティアグループです。この日は4名の方がクリスマスやお正月にちなんだ絵本の読み聞かせと、スイーツ作りの指導をしてくださいました。



松ぼっくりとツリーのお菓子を作る

～持久走大会で 県下一周駅伝選手が 子供たちの伴走～ 別府小学校

別府小学校では12月3日に校内持久走大会を開催し、たくさんの方々の保護者・地域の方々の応援と、おやじの会の方々に交通整理のお手伝いをいただきながら行われました。

また、今年も県下一周駅伝川辺チームの皆さんに伴走をお願いし、監督の森昌弘さん(音野舎)、茅野雅博さん(南さつま



道路に出て伴走(3・4年生の折り返し地点)

市消防本部)、石山大輝さん(鳳凰高校教員)の3名の監督・選手に指導をしていただきました。

持久走大会は、1・2年生800m、3・4年生1,200m、5・6年生1,500mで、それぞれ男女別にレースがあり、選手の皆さんは、先頭を引っ張ったり、中盤で子供たちに声を掛けたりして全部のレースを走ってくれました。

子供たちは風の強い中、一人一人が自己新記録を目指して、一生懸命走りました。持久走大会に向けて、毎朝、校庭を走る子供たちの姿がたくさん見られました。本番までに努力を重ねて、最後まで粘り強く走り切った姿はとても感動的でした。



校庭で伴走する川辺チームの駅伝選手

～親子で クリスマスケーキ作り に挑戦～ 立神地区公民館

立神地区公民館の青少年講座「親子でケーキ作り」が12月20日に行われ、園児1名、小学生5名、保護者1名が参加し、臼山真純さんの指導でクリスマスのデコレーションケーキ作りに挑戦しました。

子供たちはスポンジをスライスして、中にも生クリームとフルーツを乗せ、スポンジの外側を生クリームで綺麗に仕上げていきました。最後に上面をホイップクリームで飾り付け、いちご、もも、みかんやクッキーを盛り付けて美味しそうなデコレーションケーキが完成しました。

側面や上面の生クリーム塗りやデコレーションに手間取っていましたが、みんな楽しそうに調理していました。子供たちからは「来年も作りたい。」との声がかれました。



完成したケーキ



スポンジをスライスして
中にも生クリームとフルーツを乗せる

～青少年講座で新春の書き初め～ 枕崎地区公民館

枕崎地区公民館の青少年講座「書き初め」が、1月6日に中山香一郎さんの指導で枕崎地区公民館で行われ、枕崎小の児童7名が参加して今年の目標などを毛筆で書き上げました。

子供たちには前もって書き初めで書く言葉を考えてきてもらい、当日中山さんが言葉と名前の手本を書いて、手を取りながら毛筆で文字を書く指導を行いました。短い時間でしたが、7名それぞれが毛筆で書く文字を練習し、清書まで仕上げました。

参加した子供たちは、楽しく書道に取り組めた様子で、あっという間の書き初めの時間でした。書き上げた作品は、中山さんが掛け軸に表装してくれて、2月の生涯学習フェスティバルで市民会館に展示する予定です。



「書き初め」の開講式の様子



作品を添削する中山さん